

資格取得を会員に推奨

広報誌でPR、関心高まる

【奈良】奈良県トラック協会は、会員のレベルアップにつながる資格の取得や外部機関による教育の受講を積極的に勧めている。こ

れまで安全性優良事業所認定（Gマーク）やグリーン経営のほか、ISOの認証

および認定を目標に設定。

広報誌も活用してPRに努

めた結果、毎年、利用者が増えるなど関心が高まってきた。

Gマーク、グリーン経営の取得は、講習会や助成で会員をサポート。ISOも高額なコンサルタント費用を抑え取り組みやすくするため、希望者を募り合同で行う工夫も凝らしてきた。

とくに広報誌の活用には力を入れる。長年掲載している安全運転管理者等研修会の受講者感想文は、既に11年が経過。4月号では、8人のドライバーが寄稿しており、課題の把握や学ぶことの大切さを伝えている。

さらに、Gマークを新規で取得、更新した会員の工

ピソードも紹介。安全風土の構築、顧客の繊細な評価の目をクリアした事例を挙げて、有効性を示し、会員の認識を高める上で大きな効果を発揮した。

資格の取得は昨年12月末現在、Gマーク128事業所、グリーン経営36事業所、品質管理の国際規格ISO9001が33事業所、環境管理の国際規格ISO14001も6事業所に上っている。また全国平均に届かない現状を踏まえ、機会あることに有効性をアピール。4月号からリニューアルした広報誌とともに、さらなる取り組みの浸透を図っていく。（渡辺 弘雄）